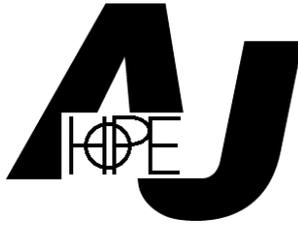


Japanese Welfare Society in Australia



Hope Connection Newsletter No.68

ホープコネクションニュースレター第68号 発行日2014年2月1日

発行者 Hope Connection Inc.

* * Hope Connection Inc. はビクトリア州政府に登録された非営利非宗教の社会福祉団体です * *

住所/郵便宛先 c/o Migrant Resource Centre, 40 Grattan St. Prahran VIC 3181 電話(電話相談兼用) 0408-574-824

ホームページ: <http://www.hopeconnection.org.au>

e-mail: info@hopeconnection.org.au

ホープコネクションからのご挨拶

皆様にとって2014年は、どんな幕開けでしたでしょうか。今年も宜しくお祝い致します。

世界中で異常気象によるニュースが多い昨今です。現地の人々や交通機関の乱れや事故などに巻き込まれた人達にとっては、大変な死活問題です。只、それでも相手が自然である分、「ひげまで凍っちゃったよ。」だの、「暑くて死にそうだよ。」などのコメントにも笑えそうなものがあって、人間が引き起こす戦争や事件、事故よりは悲惨さも少なくなんとなく平和な感じを覚えます。ここ、メルボルンも例外ではなく、オーストラリアの他州が異常に暑い時にヒーターでもつけようかと思うような肌寒いスタートでした。その寒さのせいなのか、それともアスファルトなどで固められた都会のせいなのか、水気のあるしっとりした土の少ないせいなのか、日本の夏には欠かせない蝉の大合唱が聞こえないのは少し寂しいです。それでも自然は、やはりしっかりと夏。紫や白のアガパンサスがいたる所で大輪のような花の塊を見せ、人懐っこいハエが元気に飛び回り嬉しそうに纏わりついてきます。

昨年の世相を表す漢字ナンバー1は「輪」でした。その字の如くホープの活動も皆様のお蔭でとても楽しく、和気藹々、沢山の「輪」が繋がりました。今まで参加しようかなと迷っている方も今年の木曜日の午後は是非、気軽に、手ぶらで、プラリとプランのコミュニティセンターにお越しください。

3月22日(土)にはSBSラジオでもお馴染みで、講演会も毎回とても人気がある「食いしん坊爺さん」こと伊藤修さんによる『Try ザ干物』(私たちのニュースレター67号の記事をご覧ください。)の実習を予定しています。魚や果物、野菜などを干物にして食卓を賑やかにしてみましょう。

さて今年は、こんな呼びかけをしたいと思います。私たちは、人から受けた、たった一言でほっとすることがあります。「ありがとう」「気をつけて」「お大事に」「大丈夫?」こんな言葉、人から言われて嬉しかった言葉。そのような言葉を自分も、心をこめて、言ってみよう。そうして人の「輪」を拡げ、人の「和」を大切にしたいと思うのです。

パーマカルチャーと地域活動

パーマカルチャーとは、自然や生態系の働きを有効活用してエネルギー消費を最小限に抑えた循環型の農的生活を達成することを目指し、70年代後半にオーストラリアで提唱された設計科学(design science)です。

PermanentのPerma(永続的な)とAgricultureのCulture(農+文化)が語源となっているパーマカルチャーは、「Care of the Earth(地球上のありとあらゆるものを敬い)」、「Care of People(コミュニティの自立と責任を促し)」、「Fair Share(それに要する知識や労力をも含めた資源の分かち合い)」という3つの理念に基づいており、その土地の自然条件や生物多様性を最大限に有効活用する設計にその特徴があります。日本においては里山や自然農がパーマカルチャーの概念を具現化していると言えるでしょう。自然と密接に関わってきた世界各地の先住民の知恵や自然の摂理から設計のヒントを得つつ、科学的視点に立って新しい手法や概念を構築していくパーマカルチャーの姿勢は、温故知新の精神にあふれています。

パーマカルチャーの実践の歴史はまだ40年足らずで、微調整を加

細野 祥子

えながら進化し続けています。パーマカルチャー提唱者のビル・モリソン氏とデビッド・ホルムグレン氏の生の声を聞いたり、最先端の活動に触れる機会も多いメルボルンは、パーマカルチャーを学び実践するのに恵まれた環境と言えるでしょう。

一昔前のパーマカルチャーといえば、環境意識の高い人達やヒッピーが田舎に移り住んだり、発展途上国に赴いて実践する特殊なものに見られていましたが、現在では裾野が広がり、ごく普通の人達が家庭で実践する都市型・郊外型パーマカルチャーが市民権を得ています。地球環境の悪化が深刻となり、世界の食糧危機や食の安全が問題となっている昨今、自宅の裏庭から環境保護に取り組みたい、無農薬の家庭菜園を始めて地産地消の足がかりとしたいと考える人たちが増えているのです。世界の人口の大きな割合を占める都市・郊外居住者が意識を変え行動を起こすことで、区画ごとに切り離された自然を点から線へそして面へとつなげていく影響と意義は決して小さくありません。

2006年4月にメルボルンで産声をあげた「パーマブリッツ」は、

パーマカルチャーの理念に基づく持続可能で生産的な庭を地域に増やしていくために、同じ志を持つ仲間と一緒に汗を流して楽しい時間を過ごし、地域社会における知識の共有とネットワーク構築を進める活動です。

パーマカルチャーの概念を取り入れた菜園作りに興味があっても知識あるいは資金や労力不足で庭の改造がかなわないという人がいる一方で、パーマカルチャーの教育普及に携わることが認められる設計資格であるPDC (Permaculture Design Certificate) を取得した人の中には、まずは無償でもよいからパーマカルチャーの設計コンサルティングの実務経験を積みたいて考えている人がいます。利害の一致した「庭の提供者」と「知識の提供者」が結びつき、パーマカルチャーに興味をもつ人達が「労力の提供者」として一同に会するのがパーマブリッツです。

パーマブリッツは、時期によってばらつきがあるものの平均約2、3週間に1度、メルボルン近郊のどこかで行われており、興味をもつ人は誰でも気軽に参加出来ます。パーマブリッツのホームページ (<http://www.permablitz.net>) やメーリングリストで日時や場所、持参する物等を確認し、興味のあるブリッツ会場に赴けばよいのです。市街地の狭い庭では10名程度と人数制限を設ける場合もあれば、郊外の平均的な宅地に40名ほどが集まる場合もあります。時にはコミュニティガーデンの新設やホビーファームの基礎作りといった規模の大きい会場もあります。参加者の職業、年齢、民族構成は実に多

彩です。

ブリッツ会場では、事前にホストの庭を訪れて設計を担当したPDC取得者が作業内容の説明をした後、パーマカルチャー菜園で多用される不耕起畑、ピオトープとなる水場、鶏小屋の設置等の分担作業をしていきます。ピオトープは、気温や湿度を調整し、霜の害を 방지、害虫の天敵となる小動物や益虫を招く働きをし、畑の一区画を小屋ごと移動する鶏は土を掘り返し、肥料を施し、雑草や害虫を新鮮な卵に変える働きをしたりします。

庭の改造には、廃材を再利用したり、参加者が新聞紙、苗やコンポスト等の必要資材を持ち寄るなど、ホストの負担がなるべく抑えられるように心がけられています。ホストは食べ物や差し入れたり余興時間を設けて参加者をねぎらいます。専門知識を持つ人は休憩時間に初心者向けのワークショップを開催したりします。楽しい思い出と達成感、新しい出会いと友情、料理のレシピ、庭づくりのヒントや経験者のアドバイスなど、パーマブリッツに参加した誰もが何かを得て帰る工夫がされています。

パーマブリッツに3回以上参加して活動内容を把握しコミュニティに貢献した人はホストとして招集をかける資格を得ます。

都市化にともない希薄となった地域社会の相互扶助精神を新しい形で復活させたパーマブリッツは、2013年10月に第150回に達しました。現在はメルボルンの他に海外を含む約20都市にパーマブリッツの姉妹グループができ、活動の裾野を広げています。

オーストラリアのお葬式

この世に生を受けた生きとし生けるもの全て、いつかはその生を終えなければなりません。人間以外の生き物は、ほとんどが死んだら土や海に解消されて消えていきます。しかし、人間は黙って消え去ることができません。生まれた時に出生届がいるのと同じく、死んだ時も様々な手続きが必要です。どんなに自立心の強い人でも、これだけは自分ですることができません。現代では、どんな自由人でも国や地域社会に所属し、そのための手続きから逃れて生きることも死ぬこともできません。オーストラリアで死んだ場合はオーストラリアの法とシステムに従うこととなります。多民族多文化の国オーストラリアではお葬式も様々です。ここでは身内または知り合いがオーストラリアで亡くなった場合の基本必要事項と葬式について書いてみます。毎日、元気に暮らしていても、何時なんどき何があるかわからないのが人の世です。

<<亡くなった時>>

人が亡くなった場合、死亡証明が必要で死亡届をしなければなりません。それは亡くなり方と死亡場所によって異なります。

*家で亡くなった場合：まずはドクターに連絡しなければなりません。ドクターに死亡原因を確認してもらい死亡証明を書いてもらいます。

身内や友人知人に連絡と取るのは、その後になります。

*病院または施設で亡くなった場合：医療スタッフが死亡原因を調べ確認した後、死亡証明書が発行されます。

編集部

*事故または突然死の場合：すぐに警察に連絡します。警官が検死官に連絡し、死亡原因を調査、確認したのち、死亡証明が発行されます。

<< Funeral Director (フューネラルディレクター) >>

オーストラリアでは医師または検死官によって死亡が確認されたら、通常、フューネラルディレクターに連絡します。フューネラルディレクターは、多少の違いはありますが日本の葬儀屋にあたります。フューネラルディレクターは死亡証明書の確認をしてから、遺族と、遺体の運搬、埋葬か火葬か、葬式の予算、形態、会場、日付などを話し合いながら決めていきます。故人の遺言、宗教、信条などにより、様々な形があり、費用もことなります。葬式の日、場所などが決まったら、会場に流す音楽、花の種類など、また葬式の後、お茶や飲み物、スナックなどを提供するか、またその場所、等々細かいことも決めていきます。Funeral director の数は少ないですが何社もあり、インターネットでも簡単に調べられます。

<<死亡通知先>>

葬式の手配と共に血縁関係者(疎遠者も含む)や友人、知人に知らせるのはもちろんですが、事務手続きとして知らせなければならないところもたくさんありますので、列挙します。

指定遺言執行人

雇用主

弁護士(雇っている場合)

- 会計士（雇っている場合）
- 税務署
- メディケア
- 加入プライベート・生命保険などの保険会社
- 選挙権のある人は選挙管理事務所
- 銀行などの金融関係
- 所属のクラブ
- 車のレジスターと運転免許事務所（VicRoads）
- 社会保障関係（Centrelink）
- スーパーニュエーションなど

通知する場合、通常以下の個人情報が必要とされます。

- 故人の名前と住所 生年月日と生まれた場所
- 結婚した日 職業
- 死亡診断をした医師の名前と住所
- 最も近い遺族の名前と連絡先

<<葬式>>

多民族国家のオーストラリアでは、葬式の形も様々です。まずは、故人が宗教を信じていたか否かによって大きく分かります。宗教を信じていた場合はその宗教に従った葬式が営まれるのが通常です。キリスト教徒の場合は、宗派によって分かれていますので、その宗派に属す

る教会や墓地に属する建物が葬式会場となる場合が多いようです。一般にギリシャなどラテン系はしきたりを守って行われているようです。しかし、オーストラリアでは、無宗教の人も近年かなり増えてきていて、無宗教の人のための葬式を提供する会社もあります。葬式の場所は、個人の自宅や公的会場で行われる場合もあり、故人の遺志や遺族の考え方によりその在り方も様々です。

<<葬式に参列する場合>>

オーストラリアの葬式は、先にも述べたように多民族国家のあり方を反映して様々ですが、一般的には日本のような香典の習慣はありません。ただしオーストラリアに住む日本人の場合はどうなのか、ということ、これは個々により異なることでしょう。ですから参列する前にどのような葬式なのか、故人の宗教、何式で行われるのか等々の情報を得ておく必要があります。花輪を持参または送る人もいます。が、普通の友人、知人関係の場合、ただ参列するだけ、という人もいるし、カードや花束を持参または送るという人も多いようです。服装に関しては、特に指定がない限り喪服とは限らず、主催する側も参列する側もそれぞれが思い思いの服装をしています。ただあまり華やかなものは控え、普段よりは少しフォーマルにドレスアップする、という程度の人が多いようです。

魚偏漢字クイズ

今回のカルチャースクールは魚の干物づくり。それにちなんでちょっとクイズを。魚偏の漢字を集めてみました。さてなんと読む？ 答えは最終ページにあります。まずは初級！

- | | | | |
|------|------|------|------|
| 1) 鯛 | 2) 鮭 | 3) 鰯 | 4) 鯖 |
| 5) 鯉 | 6) 鮎 | 7) 鰻 | 8) 鮪 |

少し難しくなりますよ。

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 9) 鱈 | 10) 鰺 | 11) 鱈 | 12) 鱈 |
| 13) 鯰 | 14) 鱈 | 15) 鰻 | 16) 鰻 |
| 17) 鰻 | 18) 鰻 | 19) 鰻 | 20) 鰻 |

まだまだあります。

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 21) 鰻 | 22) 鰻 | 23) 鰻 | 24) 鰻 |
| 25) 鰻 | 26) 鰻 | 27) 鰻 | 28) 鰻 |
| 29) 鰻 | 30) 鰻 | 31) 鰻 | 32) 鰻 |
| 33) 鰻 | 34) 鰻 | 35) 鰻 | 36) 鰻 |
| 37) 鰻 | 38) 鰻 | 39) 鰻 | 40) 鰻 |
| 41) 鰻 | 42) 鰻 | 43) 鰻 | 44) 鰻 |

Special Thanks to-

ホームページの活動は多くの方のご支援、ご好意、ご協力に支えられています。ほんとうにありがとうございます。

庭野平和財団、Good Neighbours Trust Fund、New Hope Foundation、Moshi-Moshi ページ Pty Ltd.、メルボルン在住匿名希望の方、Victorian Multicultural Commission、伝言ネット、ユーカリ出版、Education Logistics、JCV、豪日協会、佐川義人、Timothy McDonald、Michael Morris、洋子マーフィー、NEC、メルボルン日本人会、大隈良譲、Sandra Roeg、SBS 日本語放送、天野行哲、加茂前千代、Christine J. Rodan、吉澤通明、山本和儀、Mark Preston、Stacey Steele、鈴木月子、田村真美、村越庸子、Jennie Rice、City of Stonnington、City of Port Phillip、Kiyomi Campbell、ZZZ、日豪プレス、Maria Palmares、嘉志摩江身子、2006日豪交流年、新保道滄、Leigh Trinh、岩本幸子、入江鈴子、斉藤喜夫、前川由紀子、与那覇麻紀、峰岸夏子、樽井千賀子、永野智子、Mayumi International、古橋和子、ワタダチユキ、水上徹男、根本雅之、森下恵子、励中行、横田仁子、占部英高、稲葉育代、中嶋一憲、スターク章子、伊藤修、浅原由江、南川紗楽、細野祥子（敬称略・順不同）

ホープコネクションからのお知らせ

ホープコネクション 日本語電話相談 困り事・悩み事、お気軽に匿名でどうぞ

電話番号：0408-574-824

受付時間：月・水・木曜日 午前10時～午後3時まで

ご相談はEメール: info@hopeconnection.org.au でも受付けています。お気軽にご利用下さい

ホープコネクション シニア・サービス 鈴の会

ホープコネクションでは、毎週木曜日の午後プラーンにあるコミュニティセンターのミーティングルームで、シニアの方々を中心に、アクティビティを催しています。参加資格は、特になし。年齢、性別、国籍、すべて何でも結構。ただ、日本語が話せる方が便利かと・・・。ともかくどなたでもどうぞ。参加費は無料、参加申込も必要ありません。第2週のお茶会では日本語図書の貸出しもしています。お気軽に立ち寄ってください。

第1木曜日：書道の会。浅原由江先生のもと、ますます人気の教室です！道具もお貸しします。

第2木曜日：お茶会。ざっくばらんなおしゃべりの会です。そのあと午後3時から社交ダンス教室。先生は励中行さん。お茶会だけ、社交ダンス教室だけの参加ももちろん歓迎です。認知症に関連する様々なトピックの1時間セミナーもあわせて行っています。

第3木曜日：パソコン自習講座+麻雀教室。疑問を持ち寄って、助け合って、パソコンのスキルアップを目指しています。パソコンの少々出来るボランティアがお手伝いします。ラップトップ、iPad などご持参下さい。その横で、麻雀初心者教室も開講中。麻雀の先生も募集中です。

第4木曜日：絵画教室。講師はスターク章子さん。「まずは絵を描くことを楽しみましょう。絵を描きたいという気持ちがあれば、誰でも絵が描けます。」といわれています。道具はこちらで用意しています。

第5木曜日：コンピュータ技術者根本雅之さんのパソコン講座。初～中級向け。次回は5月29日の開催予定です。詳細はお問い合わせを。

場所： Grattan Gardens Community Centre

40 Grattan Street Prahran

(Melway 58 D 5, Commercial Road から南向きに Grattan Street に入っすぐ)

日時： 木曜日、午後1時から3時

参加費：無料

問合せ：上記のホープコネクション電話相談・メール相談へ

ホープコネクション・カルチャースクール 「TRY ザ 干物！」

日本人はやっぱり魚好きですね。お刺身もいいけれど、魚のうまみのぎゅっと詰まった干物も欠かせません。今回のホープコネクション・カルチャースクールは、前号のニュースレターの記事「TRY ザ 干物」の実習です。SBS ラジオでもお馴染みで、講演会も毎回とても人気がある「食いしん坊さん」こと伊藤修さんが講師です。まずは67号のニュースレターの記事をもう一度復習して、エプロンを持っていらしてください。

場所： Grattan Gardens Community Centre

40 Grattan Street Prahran

(Melway 58 D 5, Commercial Road から南向きに Grattan Street に入っすぐ)

日時： 3月22日(土) 午前10時から正午

参加費：\$5 (モーニングティー付き)

問合せ・申込：上記のホープコネクション電話相談・メール相談へ。3月19日(水)までお願いします。

※ チャイルド・ケア、駐車場をご希望の方もお申し込みの際に知らせて下さい。(駐車スペースは先着順です。)

魚偏漢字クイズの答え

- 1)タイ 2)サケ 3)イワシ 4)サバ 5)カツオ 6)アユ 7)アジ 8)マグロ 9)キス 10)ハモ 11)サワラ 12)マス 13)ナマズ 14)タラ 15)ブリ 16)アサリ
 17)ヒラメ 18)アワビ 19)カレイ 20)ワカサギ 21)ニシン 22)ニシン 23)タコ 24)コノシロ 25)ウツボ 26)カズノコ 27)スルメ 28)ドジョウ 29)カマス
 30)イワナ 31)ハマチ 32)フカ 33)ハゼ 34)カジカ 35)オコゼ 36)ボラ 37)ハヤ 38)ハタハタ 39)スズキ 40)シャチ 41)フグ 42)ゴリノメバル 43)ナマス
 44)カラスミ